

業務効率化へ生成AI

三重・JA伊勢 職員のアイデア創出

【三重・伊勢】JA伊勢は、職員向けに文書生成人工知能（AI）を導入した。職員が生成AIを使えるようにすることで、業務の効率化や新しいアイデアの創出につながる。文章の作成や要約、添削の他、IT関係の補助、音声の文字起こしなど、AIを活用することで業務の効率化を図る。併せて情報漏えいのリスクを抑える。

インターネット上で無料利用できる生成AIを利用すると、入力

した内容が学習データとして保存され、情報漏えいにつながるリスクがある。そこでJA

のIT・DX対策課は、セキュリティを担保しながら規程や事務マニュアルなどをA



生成AIを活用する職員（三重県度会町で）

Iに学習させ、職員が組織に関する質問をすると、AIから回答が得られるように設定した。

職員が安全に使用できるよう、法人向けにカスタマイズされたサービスを利用する。併せて、職員が誤った使い方や著作権侵害やデータ漏えいなどを起こさないよう職員に向けたガイドラインも作成した。

10月には生成AIを活用する役職員を対象に研修会を開き、参加した役職員は生成AIの正しい活用方法などを学んだ。

JAの担当者は「AIにより業務を効率化し、削減した時間で新しい組合員サービスを提供していきたい」と話す。